

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2015年1月 検針分)

2014年8月～2014年10月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2015年1月 検針分の単位料金は2014年12月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
+ 1.1016 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 + 29 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2014年12月 (A)	2015年1月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	255.8024	256.9040	+ 1.1016
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	197.8089	198.9105	+ 1.1016

●平均原料価格

	単位	2014年7月 ～ 2014年9月	2014年8月 ～ 2014年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	84,700	86,020	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	88,650	88,000	
平均原料価格	円/トン	85,230	86,460	62,680

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9533 + LPG平均価格 × 0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100, 290円以上となった場合は100, 290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 86,460 - 62,680 = 23,700 円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2015年1月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	235.1474	256.9040	21.7566
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	177.1539	198.9105	21.7566

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2014年12月	(B) 2015年1月	影響額 (B)-(A)
26	7,274	7,303	+ 29

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)